

## 講師紹介：黄 縷詩（ホアン ルーシ）

現代韓国の巫俗の実態に最も精通した研究者で、著書は十数冊を数える。梨花女子大学大学院在籍中には一貫して巫俗を研究し、1987年に「ムーダン〈巫堂〉ケンノリ〈巫戯〉研究」で学位（博士号）を取得した。研究領域は巫俗に留まらず、口碑文学、さらには韓国民間信仰全般に及んでいる。近年は特に江原道の各地を隈無く歩いてその伝承文化の丹念な発掘、調査に邁進している。また日本やアジアの民俗研究者との交流もあり、2007年からは、アジア太平洋文化センター誘致団諮問委員として献身している。

今回の講演では、2000年代に入って韓国の巫俗研究がどのような展開をみせているかについて、ご自身の30年余りの研究歴を踏まえて概観してもらうことにした。

近年の主要著書に『황루시의 우리 무당이야기(黄縷詩のわがムーダンの話)』（プルピッ、2000年）、『한국민속학 새로 읽기(韓国民俗学新読解)』（民俗苑、2001年、共著）、『진도씻김굿(珍島シッキムクッ)』（文化財庁、2001年）、『강원의 민요 2(江原の民謡2)』（江原道、2002年、共著）などがある。

### ●写真展と巫俗公演のお知らせ・・・こちらでも講演をいたします。

金秀男写真展[霊を招き、霊と交わる]が、2009年10月16日(金)～30日(金)、韓国文化院ギャラリーMI（東京都新宿区四谷4-4-1Tel. 03-3257-5970 地下鉄丸ノ内線四谷三丁目下車徒歩3分）で開催されます（午前10時から午後6時 日曜日休館 最終日は午後3時まで）。10月16日(金)午後5時半より済州島クッの公演があります。合わせてお出かけください。写真展・公演ともに無料です。